

西宮中学校改築及び (仮称)コミュニティふらっと宮前整備 基本計画(案)

杉並区では、令和6年度に実施した「西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討」を踏まえ、令和7年1月に一部修正した杉並区立施設マネジメント計画において、老朽化した西宮中学校の改築に合わせて、(仮称)コミュニティふらっと宮前を併設することとしました。

令和7年5月から、学校関係者、地域関係者、学識経験者、ゆうゆう館関係者等で構成する「杉並区立西宮中学校改築等検討懇談会」を開催するなど検討を進め、この度、改築等で目指す学校像や施設像、施設規模等を含む「西宮中学校改築及び(仮称)コミュニティふらっと宮前整備基本計画」を策定しました。今後は本基本計画を基に、設計など改築及び整備事業を推進してまいります。

令和7年9月 杉並区教育委員会事務局 学校整備課
杉並区区民生活部 地域課

目次

【1】基礎的条件	(1)敷地の概要.....	2
	(2)既存施設の概要.....	4
	(3)改築及び整備に至る経緯.....	5
【2】西宮中学校改築及び (仮称)コミュニティふらっと宮前 整備基本方針	(1)全体像.....	6
	(2)目標と取組.....	8
	(3)相互利用と地域利用.....	16
【3】計画条件	(1)生徒数・学級数推移と将来推計.....	18
	(2)諸室の想定.....	19
【4】検討経過及び今後の進め方	(1)改築等検討懇談会での経過.....	21
	(2)想定改築スケジュール.....	22
	(3)今後の進め方(予定).....	23
	(4)今後の取組課題.....	24
【5】参考	(1)コミュニティふらっと.....	25
	(2)ゆうゆう館.....	26

【1】基礎的条件 (1)敷地の概要 都市計画図

■敷地条件 (都市計画図)



— 都市計画道路

	第一種低層住居専用地域		第二種低層住居専用地域		第一種中高層住居専用地域
	第二種中高層住居専用地域		第一種住居地域		第二種住居地域
	準住居地域		近隣商業地域		商業地域
	準工業地域		準工業地域(特別工業地区)		防火地域

【1】基礎的条件 (1)敷地の概要 用途地域

■用途規制等

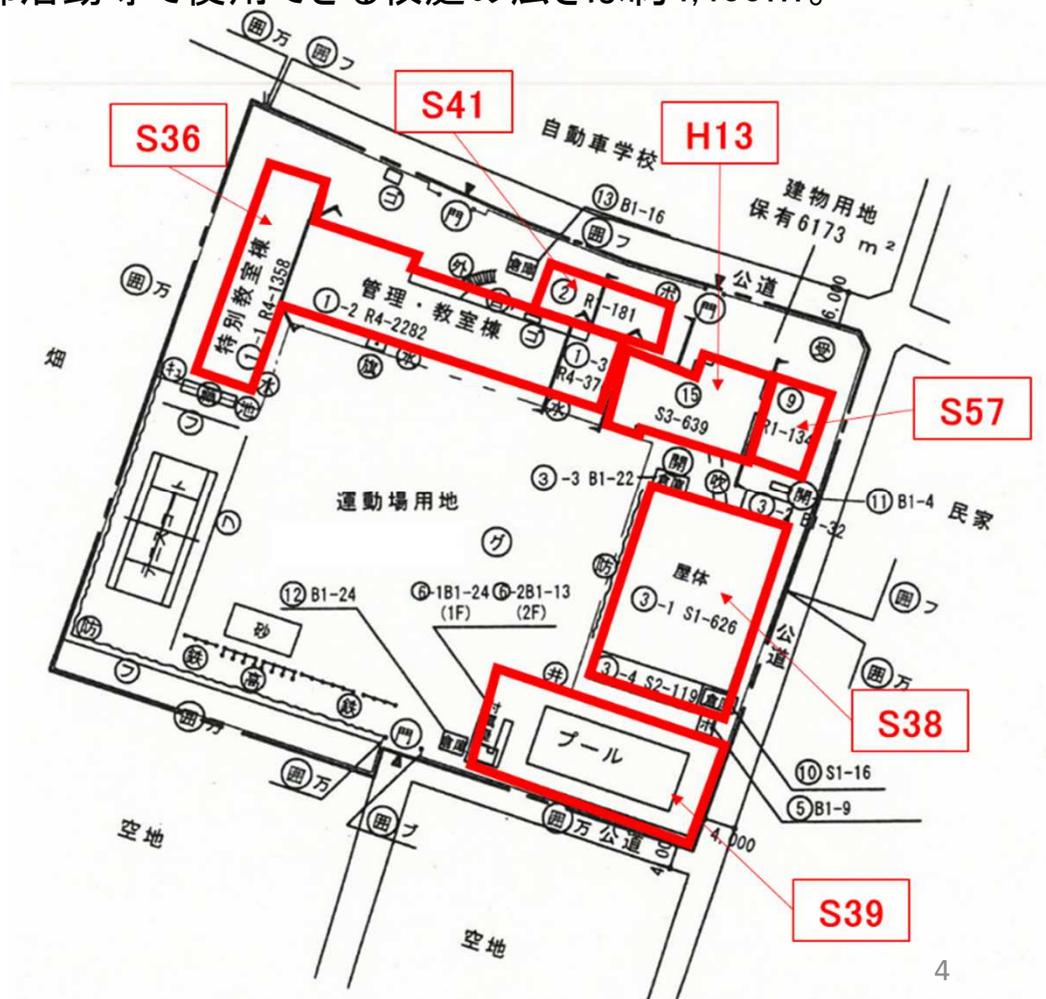
用途地域	第一種低層住居専用地域
指定建蔽率	50%
指定容積率	100%
防火地区	準防火地域
高さ限度	10m
高度地区	第1種高度地区
日影規制	3h-2h/1.5m
備考	敷地面積の最低限度:70㎡ 敷地南西角に都市計画道路あり

【1】基礎的条件 (2) 既存施設の概要

敷地面積	校舎面積	運動場面積	体育館面積
10,808㎡(直近測量結果10,077㎡)	5,033㎡	4,635㎡(※)	585㎡

※建物用地以外の面積。授業や部活動等で使用できる校庭の広さは約4,400㎡。

- 昭和36年(1961年) 設立
- (区立宮前中学校西分校が独立し区立西宮中学校として設置される)
- 昭和38年(1963年) 体育館完成
- 昭和39年(1964年) プール完成
- 昭和41年(1966年) 給食室完成
- 昭和55年(1980年) テニスコート、校庭フェンス等工事完了
- 昭和57年(1982年) 家庭科室部分増築
- 平成12年(2000年) 校舎耐震補強工事
- 平成13年(2001年) 北東校舎改築
1階会議室・教育相談室
2階多目的室工事完了



【1】基礎的条件 (3)改築及び整備に至る経緯

令和3年度

杉並区実行計画及び杉並区区立施設再編整備計画の改定
～西宮中学校改築について、近隣の宮前図書館との複合化を視野に検討～



令和4年度
、
令和5年度

杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会開催
～周辺の区立施設を含む地域全体の施設再編について改めて検討となり、一旦終了～



令和6年度

「西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討」を実施



杉並区区立施設マネジメント計画(第1期)第1次実施プラン 一部修正

- ① 地域の拠点となる開かれた学校として整備することができるため、中学校に集会施設を併設する
- ② ゆうゆう大宮前館を機能継承することを踏まえた、多世代が利用できる集会施設とする
- ③ 多世代型の集会施設「コミュニティふらっと」として整備し、地域の学びと交流の拠点整備を行う
- ④ 中学校については学校教育に必要な諸室の充実や、現在と同等以上の校庭面積を確保する
- ⑤ 中学生のプライバシー等に配慮し、建物配置の工夫を設計等に反映させる



令和7年度

杉並区立西宮中学校改築等検討懇談会開催

【2】西宮中学校改築及び(仮称)コミュニティふらっと宮前整備基本方針(1)全体像

目指すべき学校像・施設像

<ビジョン>

【ビジョン1】
 自主・自律、文武両道の校風を支え、将来を見据えた多様な教育活動に対応できる学校づくり

【ビジョン2】
 地域に寄り添い、環境に配慮した安心・安全で調和のとれた拠点づくり

<目標>

目標Ⅰ 多様な学びと質の高い環境で、全ての生徒が共に過ごし、主体的で深い学びを追求する学校づくり

目標Ⅱ 生徒の生活環境に配慮し、授業と放課後の活動を支える西宮中学校の特色を備えた学校づくり

目標Ⅲ 生徒数の変化や教育課題に柔軟に対応し、将来にわたって使い続けられる学校づくり

目標Ⅳ 教職員や支援者が活動しやすく、交流に配慮した施設を備えた学校づくり

目標Ⅴ 地域の意見を踏まえた、安心・安全地域の拠点として機能する学校づくり

目標Ⅵ 環境に配慮し、周辺環境と調和した学校づくり

<取組>

取組A 個人、少人数、学級、学年単位での学習活動など、多様な学習形態に対応できるスペースの確保と、自主学習などの学習環境を、生徒が自己選択できる施設計画

取組B ユニバーサルデザインを取り入れ、全ての生徒が安心・安全で快適な環境で学習活動に取り組める施設計画

取組C 学校図書館と校内情報ネットワークを中心としたラーニングセンター機能を充実させ、学習を深化させる「学びの場」の整備

取組D 西宮中学校の活発な学校行事や部活動、授業等の教育活動を行うことができる体育館や校庭スペース等の確保と適切な素材を使用したグラウンドの整備

取組E 生徒と教職員・生徒同士が互いにコミュニケーションを日常的に円滑にとれるようなスペースの確保と環境の整備

取組F 転用のしやすさ等も考慮に入れ、将来生徒数が減少した際も時代のニーズに合わせて活用できる施設計画

取組G 生徒数の増加や新たな教育施策にも対応可能な、多目的室等を配置した施設設計

取組H 誰もが使いやすい施設となる、簡素で機能的な施設設計と維持管理コストの削減を目指した施設計画

取組I 授業準備や授業、生徒指導がしやすく、教職員の働きやすさに配慮した機能的な施設計画

取組J P T Aや学校支援本部をはじめ、学校運営や教育活動を支える支援者の活動に配慮した施設計画

取組K 建物の安全性・耐震性を重視した施設の整備

取組L 震災救済所の運営や、地域や生徒が参加する防災訓練等を円滑に行うことができる施設の整備

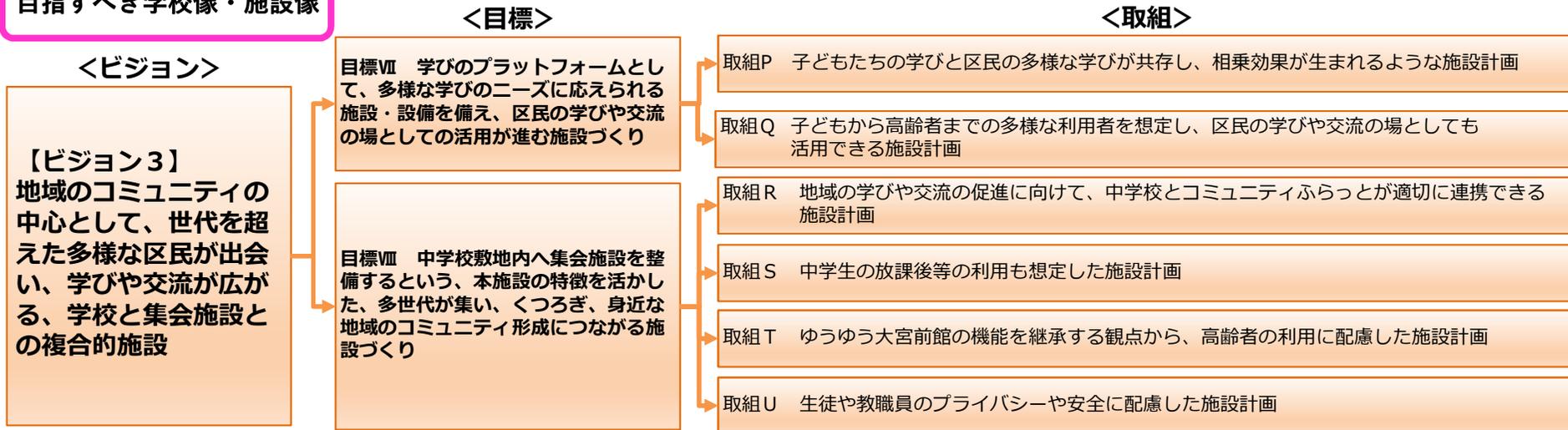
取組M 災害時に地域住民を受け入れるための避難スペースや防災井戸、マンホールトイレ、防災倉庫等を敷地内に設け、地域防災拠点としての機能の整備

取組N 落ち着いた住宅街にある公共施設としてふさわしい、周辺の住環境とも調和した施設計画

取組O 環境負荷を低減する設計とエネルギー効率の良い設備の導入を進め、地域社会に調和した持続可能な学校運営を実現できる施設計画

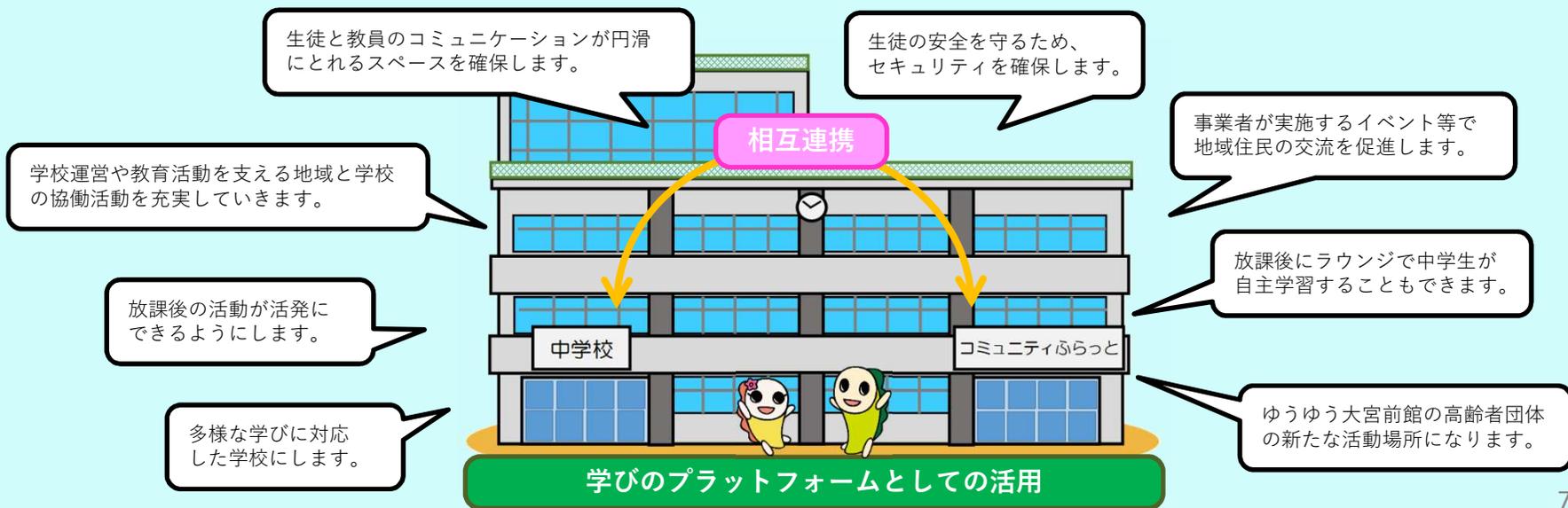
【2】西宮中学校改築及び(仮称)コミュニティふらっと宮前整備基本方針(1)全体像

目指すべき学校像・施設像



■西宮中学校・(仮称)コミュニティふらっと宮前の整備イメージ

学校とコミュニティふらっとが連携し、中学校の教育環境の向上を図るとともに、地域住民の学びや交流を育む施設を整備します。



【ビジョン1】の取組説明

(目標Ⅰ)

多様な学びと質の高い環境で、全ての生徒が共に過ごし、主体的で深い学びを追求する学校づくり

(取組A)個人、少人数、学級、学年単位での学習活動など、多様な学習形態に対応できるスペースの確保と、自主学習などの学習環境を、生徒が自己選択できる施設計画を目指します。オープンスペースの活用で学年の集まりや、多目的教室の活用などで様々な学習展開に対応します。

(取組B)ユニバーサルデザインを取り入れ、全ての生徒が安心・安全で快適な環境で学習活動に取り組める施設計画を目指します。インクルーシブ等多様性に対応できるよう、バリアフリー設計など工夫し、対応します。

(取組C)学校図書館と校内情報ネットワークを中心としたラーニングセンター機能を充実させ、学習を深化させる「学びの場」を整備します。

【2】西宮中学校改築及び(仮称)コミュニティふらっと宮前整備基本方針
(2)改築・整備基本方針(目標と取組) ②目標Ⅱ

(目標Ⅱ)

生徒の生活環境に配慮し、学業と放課後の活動を支える西宮中学校の特色を備えた学校づくり

(取組D)西宮中学校の活発な学校行事や部活動、授業等の教育活動を行うことができる体育館や校庭スペース等の確保と適切な素材を使用したグラウンドの整備を行います。現在の校庭面積を維持するだけでなく、さらに広い面積の確保を目指します。

(取組E)生徒と教職員・生徒同士が互いにコミュニケーションを日常的に円滑にとれるような、スペースの確保と環境の整備を行います。職員室前などに、気軽に相談できるベンチなどのスペースを確保することを目指します。

【2】西宮中学校改築及び(仮称)コミュニティふらっと宮前整備基本方針
(2)改築・整備基本方針(目標と取組) ③目標Ⅲ

(目標Ⅲ)

生徒数の変化や教育課題に柔軟に対応し、将来にわたって使い続けられる学校づくり

(取組F)転用のしやすさ等も考慮に入れ、将来生徒数が減少した際も時代のニーズに合わせて活用できる施設計画とします。教育活動スペースと開放用スペース、それぞれの諸室の配置等工夫します。

(取組G)生徒数の増加や新たな教育施策にも対応可能な、多目的室等の配置を行います。

(取組H)誰もが使いやすい施設となる、簡素で機能的な施設設計と維持管理コストの削減を目指した施設計画とします。

(目標IV)

教職員や支援者が活動しやすく、交流に配慮した施設を備えた学校づくり

(取組I)授業準備や授業、生徒指導がしやすく、教職員の働きやすさに配慮した機能的な施設計画とします。職員室の共用・作業スペースの充実、職員室のフリーアドレス化や休憩場所の整備等を検討します。

(取組J)PTAや学校支援本部をはじめ、学校運営や教育活動を支える支援者の活動に配慮した施設計画とします。

【ビジョン2】の取組説明

(目標V)

地域の意見を踏まえた、安心・安全な地域の拠点として機能する学校づくり

(取組K) 建物の安全性・耐震性を重視した施設整備とします。

(取組L) 震災救援所の運営や、地域や生徒が参加する防災訓練等を円滑に行うことができる施設の整備を行います。

(取組M) 災害時に地域住民を受け入れるための避難スペースや防災井戸、マンホールトイレ、防災倉庫等を敷地内に設け、地域防災拠点としての機能を確保していきます。

(目標Ⅵ)

環境に配慮し、周辺環境と調和した学校づくり

(取組N) 落ち着いた住宅街にある公共施設としてふさわしい、周辺の住環境とも調和した施設計画とします。また、周辺住環境に配慮し、敷地内における緑化の充実に取り組めます。

(取組O) 環境負荷を低減する設計とエネルギー効率の良い設備の導入を進め、地域社会に調和した持続可能な学校運営を実現できる施設計画とします。

ZEB Ready以上を目指し、認証取得を行います。

(※ZEB Ready・・・建物の年間一次エネルギー消費量を50%以上削減)

【ビジョン3】の取組説明

(目標Ⅶ)

学びのプラットフォームとして、多様な学びのニーズに応えられる施設・設備を備え、区民の学びや交流の場としての活用が進む施設づくり

(取組P)子どもたちの学びと区民の多様な学びが共存し、**学び合いや教え合いが生まれ、子どもの学びと地域の方の学びが共に深まる活動やイベントの実施が可能な施設**にします。

(取組Q)子どもから高齢者までの多様な利用者を想定し、区民の学びや交流の場としても活用できる施設にします。**中学校の特別教室やコミュニティふらっとの諸室を隣接した場所に配置することで、必要に応じて相互利用が可能となる整備を目指します。**

(目標Ⅷ)

中学校敷地内へ集会施設を整備するという、本施設の特徴を活かした、多世代が集い、くつろぎ、身近な地域のコミュニティ形成につながる施設づくり

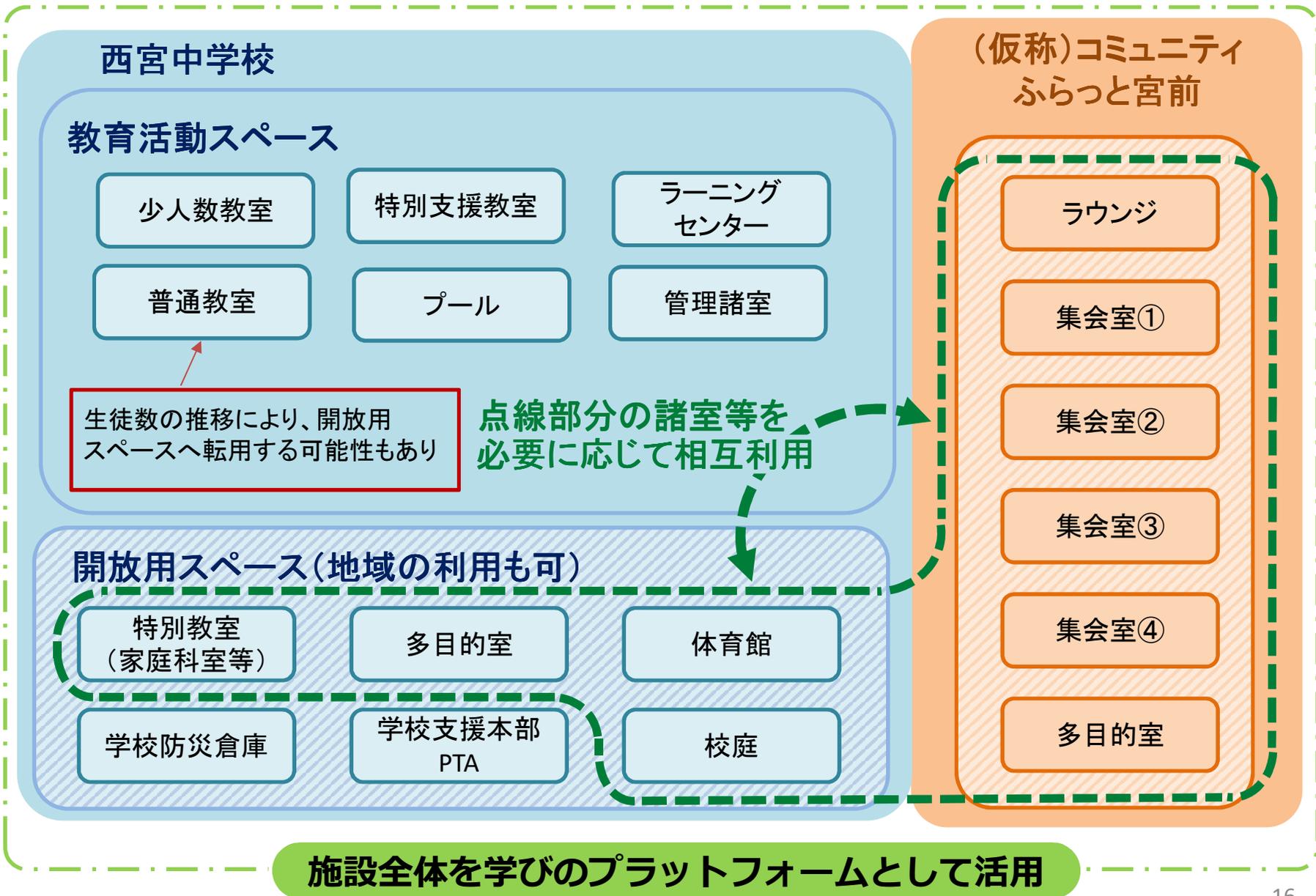
(取組R) 中学校教職員とコミュニティふらっとの事業者が日常的にコミュニケーションを取ることができる環境を整備し、施設一体となって地域の学びや交流を促進することができる施設を目指します。

(取組S) コミュニティふらっとに自習や歓談できるラウンジを整備することなどにより、中学生が放課後等も利用できる施設にします。

(取組T) コミュニティふらっとは、機能を継承するゆうゆう大宮前館の諸室や利用状況などを踏まえて集会室を整備するほか、バリアフリーにも配慮した施設にします。

(取組U) 生徒や教職員が安心して学校教育活動ができるよう、コミュニティふらっとなどの利用者の動線や視線等を考慮し、プライバシーやセキュリティが適切に確保された施設にします。

(3) 中学校とコミュニティふらっとにおける相互利用と地域利用 ①



<中学校とコミュニティふらっとを複合的に整備するに当たってのポイント>

<相互利用の取組>

- ◆学校教育活動等に支障のない範囲で、学校施設の開放用スペースをコミュニティふらっとのイベントや学校開放等の取組で地域の方が活用できるようにします。また、教職員の会議や学校行事などで、必要に応じてコミュニティふらっとの諸室を活用します。こうした相互利用を促進するために、学校教職員とコミュニティふらっとの事業者が、日常的にコミュニケーションを取ることができる環境を整備します。
- ◆放課後に中学生がコミュニティふらっとのラウンジで、自主学習や読書、友達とのおしゃべりをするなど、中学生の放課後等の居場所としても活用します。
- ◆多様な利用者が利用することに伴い、防犯の観点から各施設の出入口は別とし、施設を明確に区分けするとともに、学校施設の開放利用時の動線に配慮した施設とします。

<相互利用の狙い>

- ◆学校とコミュニティふらっとの施設全体を「学びのプラットフォーム」として捉え、学校と多くの地域住民がつながることで、地域と共にある学校づくりの充実を図ります。
- ◆学校施設の開放用スペースの活用により、コミュニティふらっと事業者の自主事業等の展開の幅が広がることで、地域の交流の促進につなげるとともに、地域住民の様々な活動を支えます。
- ◆コミュニティふらっとの事業者が学校教職員や学校運営協議会、学校支援本部等の地域の方々と施設を通してつながり、教育活動の幅を広げるサポートを行うことなどにより、生徒の教育効果を高めていきます。

【3】計画条件 (1) 生徒数・学級数推移と将来推計

表1 西宮中学校 生徒数・学級数(予測)

	1年		2年		3年		合計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
令和7年度	101	3	120	3	111	3	332	9
令和8年度	108	4	101	3	120	3	329	10
令和9年度	106	4	108	4	101	3	315	11
令和10年度	109	4	106	4	108	4	323	12
令和11年度	104	3(4)	110	4	107	4	321	11(12)
令和12年度	102	3	104	3(4)	110	4	316	10(11)
令和13年度	110	4	102	3	104	3(4)	316	10(11)
令和14年度	74	3	110	4	102	3	286	10
令和15年度	74	3	74	3	110	4	258	10
令和16年度	76	3	74	3	74	3	224	9
令和17年度	79	3	76	3	74	3	229	9

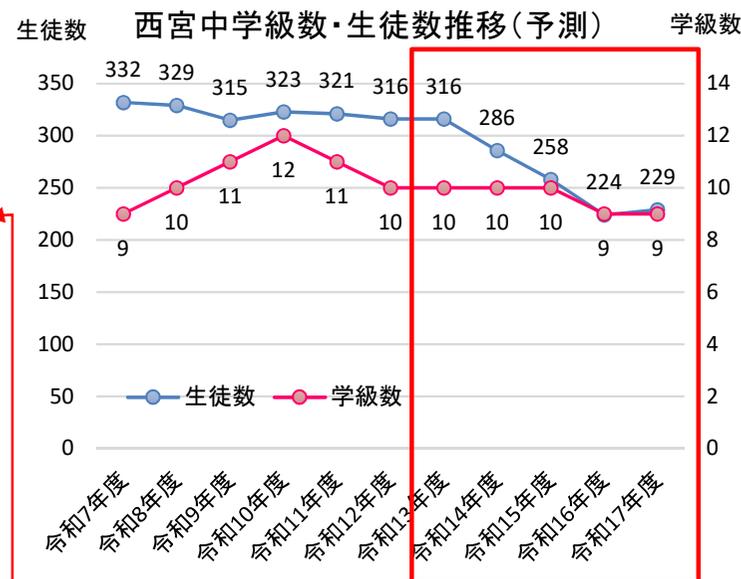
※令和7年度は実数。令和8年度以降は推計値。
 ※()内は1～3名増で1クラス増の可能性がある。

新校舎利用年度

表2 【参考】学級編成基準

学級数	生徒数
1学級	1～35
2学級	36～70
3学級	71～105
4学級	106～140

※段階的35人学級の導入を想定し算定



●新校舎の使用開始を見込んでいる令和13年度以降、学級数は減少傾向であり、当面9～11学級程度が見込まれる

普通教室11学級規模で改築

※それ以上になった場合でも、普通教室に転用可能な英語教室等を整備する。

【3】計画条件 (2) 諸室の想定(学校)

■ 西宮中学校の諸室面積について ～『杉並区立学校施設整備計画(第2次改築計画)』(R3. 3)の標準面積を基に想定～

用途分類		現状面積 9学級	改築面積 11学級
校舎	普通教室	627㎡	792㎡
	特別教室・準備室	1,818㎡	1,706㎡
	管理・その他諸室	2,285㎡	3,149㎡
	プール付属施設	46㎡	100㎡
	特別支援教室・個別対応室	55㎡	144㎡
屋内運動場・付属諸室		799㎡	1,006㎡
その他	給食調理諸室	181㎡	286㎡
	屋外倉庫等	82㎡	229㎡
総計		5,893㎡	7,412㎡

【3】計画条件 (2) 諸室の想定(コミュニティふらっと)

■(仮称)コミュニティふらっと宮前で整備を想定する諸室及び規模

用途分類	想定規模	摘要
集会室 (4室)	①20~30m ² ②20~30m ² ③50~60m ² ④40~50m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や文化活動のほか地域の会議など、集会で使うことができる貸室として整備する。 ・①②は一体使用可とする。 ・一部の部屋・時間帯については、高齢者団体の優先使用を想定することから、下記に示す高齢者団体の主な活動種目に対応可能な設えとする。
多目的室 (1室)	・80~90m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・集会室よりも広く、軽い運動(卓球、ダンス等)ができる貸室として整備する。 ・壁面に鏡を設置する。
ラウンジ (1所)	・80~90m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・予約なしで、誰でも使うことができるフリースペースとして整備する。 ・中学生等が自習をしたり、立ち寄った区民がおしゃべりをするなどの利用を想定し、個人利用できるテーブルと団体利用できるテーブルを設置する。 ・飲食を可能とし、フリーWi-Fiが使えるようにする。

※上記のほか、事務室、倉庫、湯沸かし室、印刷室等を整備し、施設規模としては600m²程度を想定する。

※中学生から要望が多かった楽器練習ができる部屋など、施設規模等を踏まえて設置可能性を検討する。

■高齢者団体の主な活動種目(登録団体:26団体(令和6年度下半期))

スポーツ吹き矢、輪投げ、卓球、体操、手芸、俳句、囲碁

【4】検討経過及び今後の進め方（1）改築等検討懇談会での検討経過

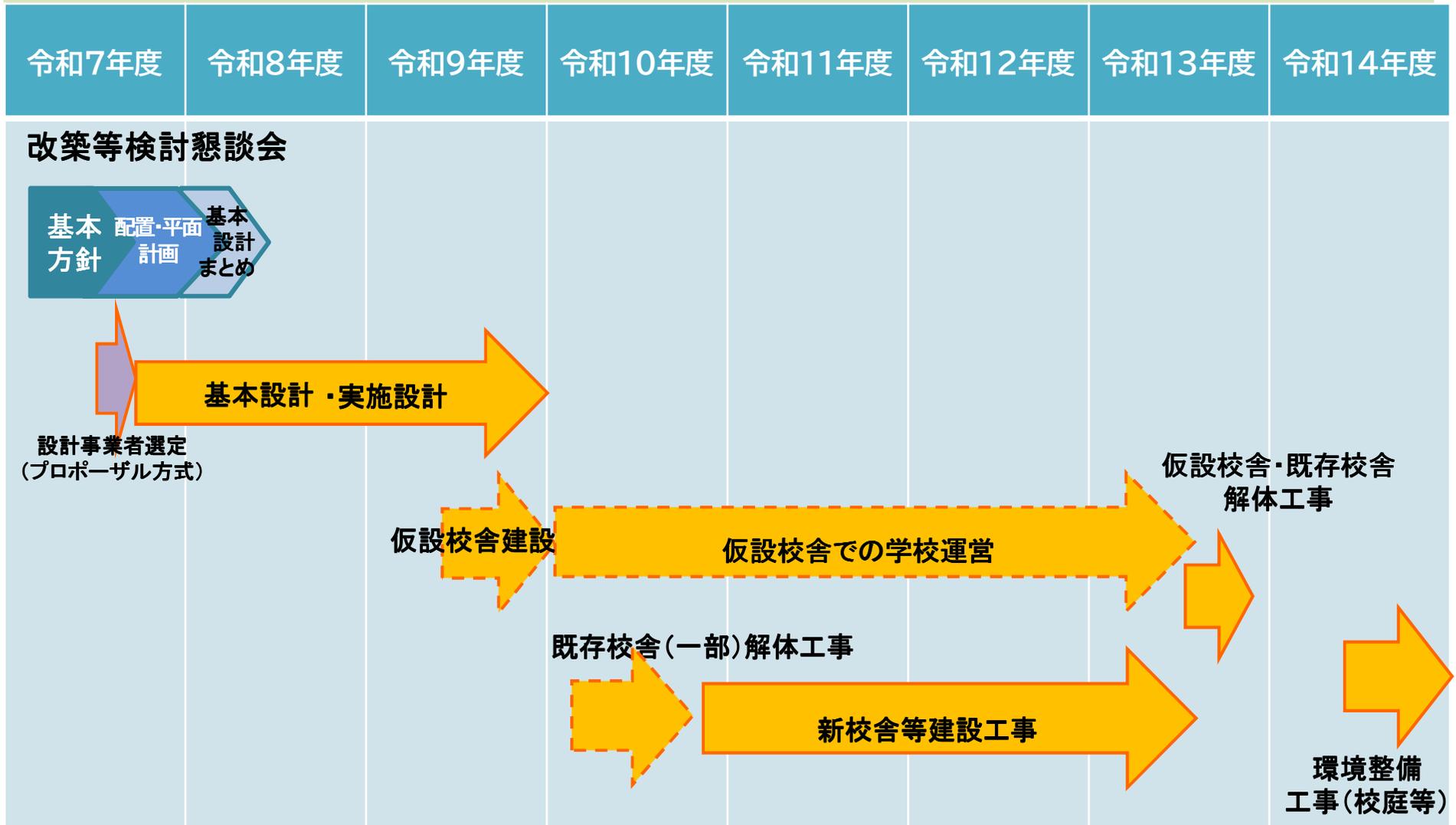
	日時・場所	主な内容	
第1回	令和7年5月1日(木) 午前10時～12時22分 @西宮中学校 多目的室	○西宮中学校の特色について ○コミュニティふらっとについて	○西宮中学校改築の概要について ○ゆうゆう大宮前館について
第2回	令和7年6月20日(木) 午後3時～5時5分 @西宮中学校 多目的室	○複合化の事例紹介について	○改築基本方針(たたき台)について
第3回	令和7年7月11日(金) 午後1時～5時 @施設見学	○講演会	○施設見学 (コミュニティふらっと本天沼、杉並区立富士見丘小学校)
第4回	令和7年7月30日(木) 午後1時30分～3時38分 @西宮中学校 多目的室	○改築基本方針(素案)について	○生徒数・学級数・諸室規模について
第5回	令和7年8月29日(金) 午後2時～4時 @西宮中学校 多目的室	○オープンハウス報告について	○基本計画(案)について

～～改築等検討懇談会委員(順不同・敬称略)～～

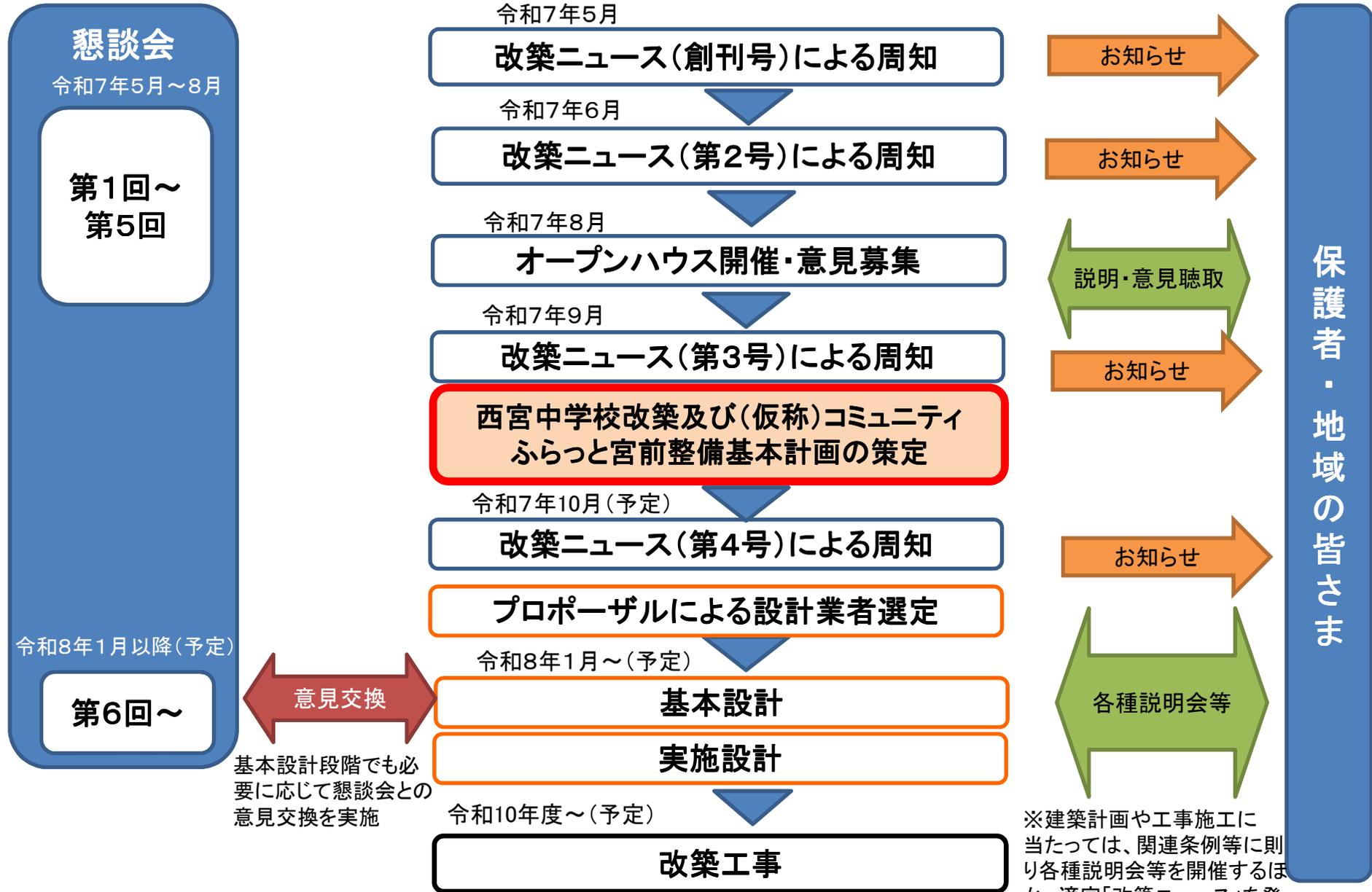
団体名等	氏名	団体名等	氏名	団体名等	氏名	団体名等	氏名
千葉大学大学院教授	柳澤 要	西宮中学校PTA	廣田 香乃子	西宮中学校推薦者	新留 敬子	西宮中学校副校長	大金 泰光
東京学芸大学准教授	入江 優子	西宮中学校PTA	坂井 初枝	高井戸第二小学校PTA	木村 美樹	高井戸第二小学校校長	柴田 紀子
宮前五丁目南地区防災防犯会	大熊 和夫	西宮中学校運営協議会	岩谷 俊行	高井戸第四小学校PTA	安田 敬子	高井戸第四小学校校長	本橋 忠旗
宮前五丁目北地区防災防犯会	浅田 良子	西宮中学校運営協議会	立入 聖堂	松庵小学校PTA	室津 佳介	松庵小学校校長	戸口 満
西荻南一、二丁目南部町会	小山 圭子	西宮中学校運営協議会	小寺 正芳	久我山小学校PTA	宮澤 恵里子	久我山小学校校長	守田 聰美
久我山西自治会	鎌田 あつ子	西宮中学校学校支援本部	大島 和美	ゆうゆう館関係者	桐ヶ谷 仁		
松庵東町会	三浦 春江	西宮中学校青少年委員	齋藤 千帆	西宮中学校校長	立花 忠司	計	26名

【4】検討経過及び今後の進め方（2） 想定改築スケジュール

標準的なスケジュールです。スケジュールは校舎配置等により異なります。
 ※今後のスケジュールは変わる可能性があります。



【4】検討経過及び今後の進め方 (3) 今後の進め方(予定)



【4】検討経過及び今後の進め方 (4) 今後の主な取組課題

(1) 改築工事期間中の教育環境の確保について

○仮設のプレハブ校舎は、子どもたちの教育環境として必ずしも十分ではなく、規模によっては使用期間に対して財政負担も大きいことから、仮設校舎の規模・使用期間は必要最小限となるよう、今後の設計を通じて検討する。

○改築工事期間中は周辺学校施設等に体育施設の貸出協力依頼を行うなど、校庭や体育施設等が不足する期間中の活動機会の確保に取り組む。

(2) 学校とコミュニティふらっとの運営等について

○区内で初めて学校とコミュニティふらっとを一体的に整備し、学びのプラットフォームとして施設全体を活用することから、次の点について検討していく必要がある。

- ・教職員に負担をかけず、かつ、学校教育の運営に影響を及ぼさない学校開放事業のあり方
- ・特別教室等の使用ルール策定や貸出備品の整理など、施設の管理や運営方法、両施設の連携の仕組み
- ・学校開放や両施設の連携、セキュリティの確保を踏まえた学校とコミュニティふらっとの施設や諸室の配置
- ・学校開放等、学校施設運営へのコミュニティふらっと運営事業者の関与の度合い

(3) 区民等からの意見聴取について

○基本設計中にも懇談会や説明会等を開催し、引き続き学校関係者、ゆうゆう館利用者、保護者、近隣住民等のご意見・要望等を丁寧に反映する。

【5】参考 (1)コミュニティふらっと

乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ施設です。

(令和7年4月1日現在、区内8か所で運営しています。)

高齢者団体優先枠

一般利用者に先駆けて集会室を優先的に使用できる「高齢者団体優先枠」を設けることで、高齢者の活動機会を確保しています。

■多世代交流イベント、自主事業

○身近な地域におけるコミュニティの形成に資するため、子どもから高齢者までの全ての世代が交流することができるよう全館型の行事を企画し、年2回実施しています。

○地域特性を踏まえ、施設を運営する事業者が、子どもから高齢者まで全ての世代の交流を目的とする講座やサロン等の自主事業を実施しています。



多世代交流イベントの様子



自主事業の様子

コミュニティふらっと(標準規模)のイメージ



【参考】諸室イメージ



ラウンジ



集会室



今回整備する(仮称)コミュニティふらっと宮前は、近隣のゆうゆう大宮前館の高齢者団体の活動場所としての機能を継承します。

【5】参考 (2) ゆうゆう館

■ 利用対象者：杉並区にお住まいの60歳以上の方々

■ 施設数：26施設（令和7年（2025年）4月時点） ■ 利用方法（個人利用及び団体利用は無料）

個人利用	一般和室または談話室・談話コーナーで、テレビ・囲碁・将棋などを自由に利用可能
団体利用	趣味やいきがづくりなどの活動に、洋室・和室・茶室・講座室・多目的室・ホールなどを利用可能
目的外使用	空いている部屋がある場合は、一般の方も 使用可能（要事前予約/有料）

■ 協働事業

各ゆうゆう館の施設運營業務を担うNPO法人などの団体が、「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」などに関する講座・催し（スマホ講座・囲碁・卓球・ヨガ・コーラスなど）を実施しています。
※事業により参加費がかかります。

（仮称）コミュニティふらっと宮前に機能継承するゆうゆう大宮前館の紹介

施設が老朽化したゆうゆう大宮前館については、令和6年度（2024年度）に実施した「西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討」の中で、西宮中学校の改築と合わせて整備する（仮称）コミュニティふらっと宮前に、高齢者団体の活動場所等の機能を継承していくこととしました。

■ 築年数・延床面積・部屋数等

築年数	延床面積	洋室1	洋室2	洋室3	構造
60年 (S40年築)	199.44㎡	57.9㎡	22㎡	23.7㎡	鉄筋コンクリート造 エレベーター未設置

■ 活動団体数

26団体（令和6年度（2024年度）下半期）

■ 団体人数

259人（令和6年度（2024年度）下半期）

■ 稼働率（令和6年度（2024年度））

部屋名	施設全体	9～12時	13～17時	18～21時
洋室1	56%	73%	76%	8%
洋室2		77%	76%	29%
洋室3		73%	52%	19%

【参考】

ゆうゆう館全体稼働率

⇒約52%

（高齢者活動支援センターは含まず）